

御池（みいけ）から燧ヶ岳・会津駒ヶ岳

2016年5月4日(水)～6日(金)

メンバー：ふじ(リーダー)、井藤、磯部N(記)、後藤、ハンブルクの星

檜枝岐にある尾瀬御池の駐車場を起点に、燧ヶ岳ピストンと会津駒ヶ岳への縦走を計画して3日夕方磐田を出発。

ゴールデンウィークの前半は天気が悪く、山岳事故が相次いだ中、後半は天候に恵まれてまずまずの山歩きが楽しめた。

雪は例年より少なく、時にはヤブを抜けるのに手間取ったりもしたが、咲き出したミズバショウなど尾瀬らしい景色も堪能できて、満足感のある春山歩きだった。

5/4(水) 晴れ時々曇り。雨のち曇り時々晴れ

御池駐車場（10:00）-広沢田代（11:10）-熊沢田代（12:10）-燧ヶ岳（14:10-25）
-御池駐車場（17:30）テン泊

降り続く雨をさけて10時まで車で待機していたがようやく雲が切れてきたので出発。歩き出してすぐに木道脇にミズバショウの群落があった。



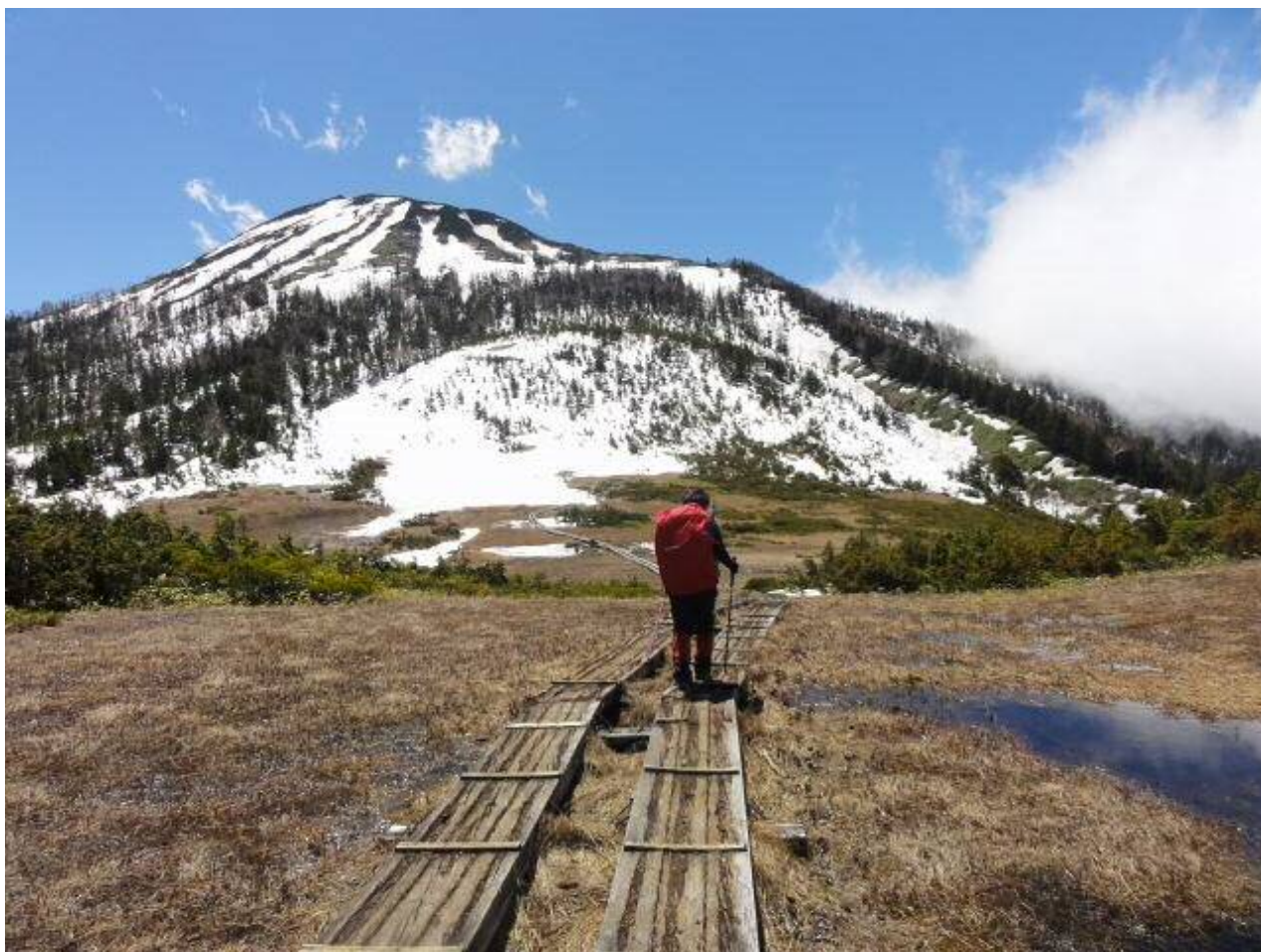
ミズバショウは尾瀬の春の象徴

湿原をめざして登る。短い急登が何度も出てくる。



湿原直下の急な登り

湿原はすでに雪が溶けて、木道がほとんど出ていた。木道の上をザーザーと雪解け水が流れている場所もあった。植物の芽吹きにはまだ早く、花には出会えなかった。



広沢田代から燧山頂を望む

2箇所の湿原を越えて雪の急登を登り切ると、岩稜帯に出る。ハイマツとの格闘を終えてようやく頂上に着いた。燧ヶ岳山頂は至仏山、会津駒ヶ岳など有名な山がズラーと並ぶ、すばらしい展望地だった。



燧ヶ岳山頂から尾瀬沼の全景が見えた

5/5(木) 曇り時々晴れ

御池駐車場(6:20)-大杉岳(7:55)-大津岐峠(9:25)-駒の小屋(13:25~14:00)-会津駒ヶ岳(14:15)-中門岳(15:00)-駒の小屋(16:30)泊

また、夜中は雨が降った。かなり強い降り方だった。朝になっても雲は多かったが予定どおりに出発。あまり人の入らないコースだが、この日は単独行者らしいトレースがあり、概ねそのトレースに従って歩いた。



小さなピークを越えていく

稜線上はほとんど雪が着いていて、アップダウンの有るコースだが、緩やかなので、ゆったり春山の稜線歩きを楽しんだ。



雪庇の踏み抜きに気をつけて歩く

駒の小屋で一休みした後、会津駒ヶ岳から中門岳まで足を伸ばす。小屋から会津駒ヶ岳までは15分ほどなので、あっという間に登れる。

たどり着けば抜群のロケーション。前方に中門までの白いなだらかな稜線が続いている。中門岳まで行く人は少ないかもしれない。

夕方になり風も強くなってきた。中門岳の三角点も雪の中で見つからず、写真を撮って引き返す。



中門岳頂上付近



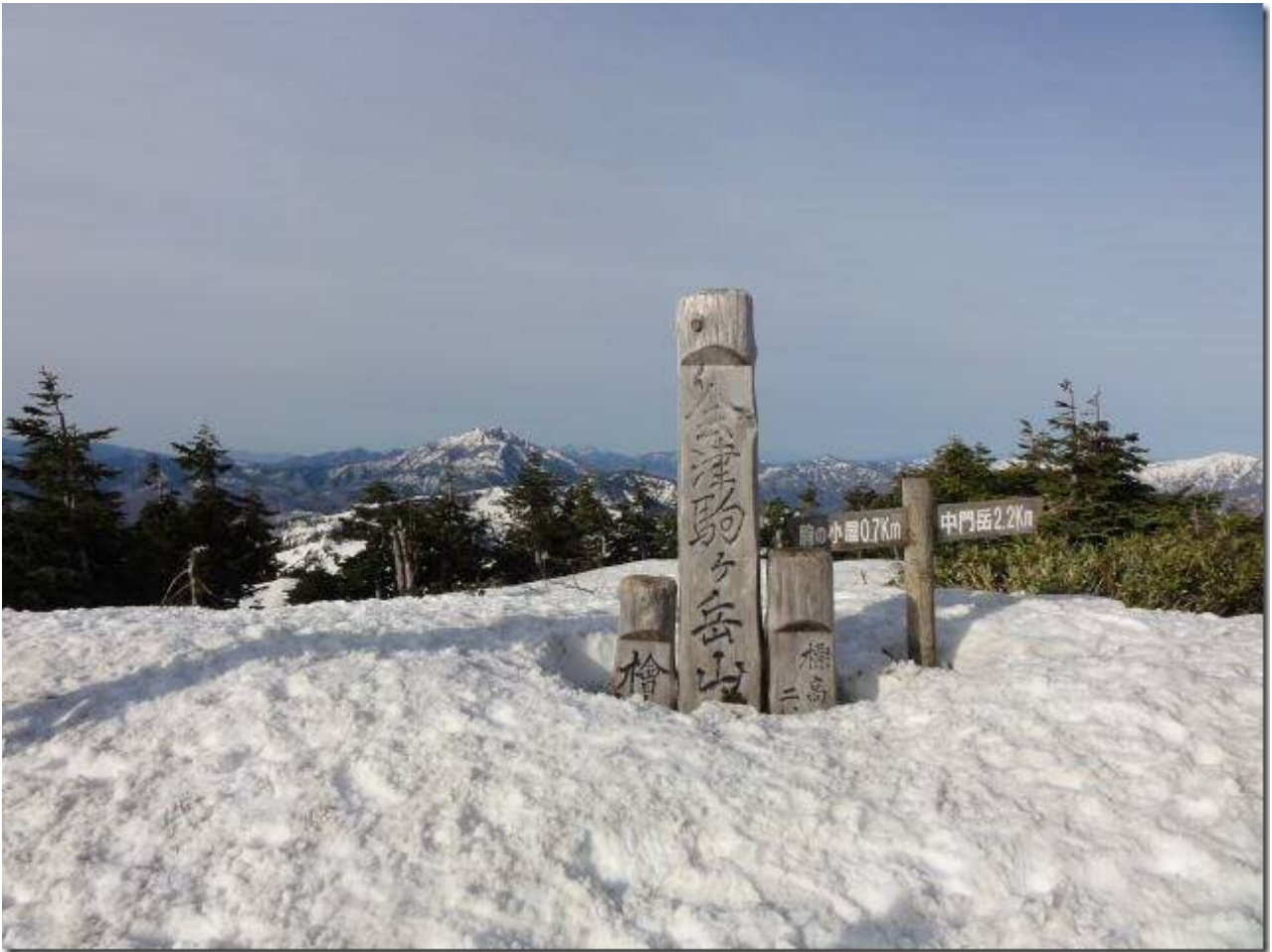
中門岳から駒ヶ岳へ登り返す

小屋の宿泊者はこの日1人。常連の人もきていて、料理やら大吟醸のご相伴にあずかる。暖かく、ゆったり、快適な寝心地だった。

5/6(金) 晴れ

駒の小屋(6:10)-会津駒ヶ岳(6:30)-三岩岳(9:35-55)窓明山(11:23)-小豆温泉登山口(15:00)

朝から、快晴！気持ちよく歩き出す。御来光も見て、会津駒ヶ岳で十分景色を堪能。



朝の会津駒の山頂



目の前に伸びる縦走路

大戸沢岳、三岩岳、窓明山と歩いて小豆温泉を目指す。
このコースもそろそろ雪解けが進んで、歩けなくなりそう。何しろ、本来は登山道が無い。雪が溶ければ草木が出てくる。この日辺りが限界かも？と小屋の人に言われた。

窓明山からの下り道は、両側にイワウチワやタムシバ、ツツジが咲く芽吹きの日だった。



ショウジョウバカマ



イワウチワ



下山道途中からの三岩岳

優しい、おおらかな東北の春山歩きだった。

以上